複数種混合セラミック材料
“PROUSON®”
配合クリームによる
末梢血流変化

NPO 特定非営利活動法人 Japan Health Project Promotion Society 日本健康事業促進協会

測定は顕微鏡とサーモグラフカメラを使い、*PROUSION*® の効果は触媒作用、共鳴作用から為されるものであると云う考えのもとに、顔に塗布し、敢えて塗布場所から離れた手先、指先の血流に変化が起きるかを考察した。顕微鏡は左薬指、サーモグラフカメラは(掌ではなく)両手甲を測定している

●被験者11名／血液循環に作用する医薬品、健康食品は３日前から服用を制限。当日は、来場６時間前から飲食を禁止。水分についても１時間前から摂取禁止。

●入室後30分安静（この間にPROUSIONのPV鑑賞）
その後、塗布前の状態を測定。塗布以降、５分後～15分後～30分後に測定。

●配合品使用６例、非配合品(プラセボ)５例

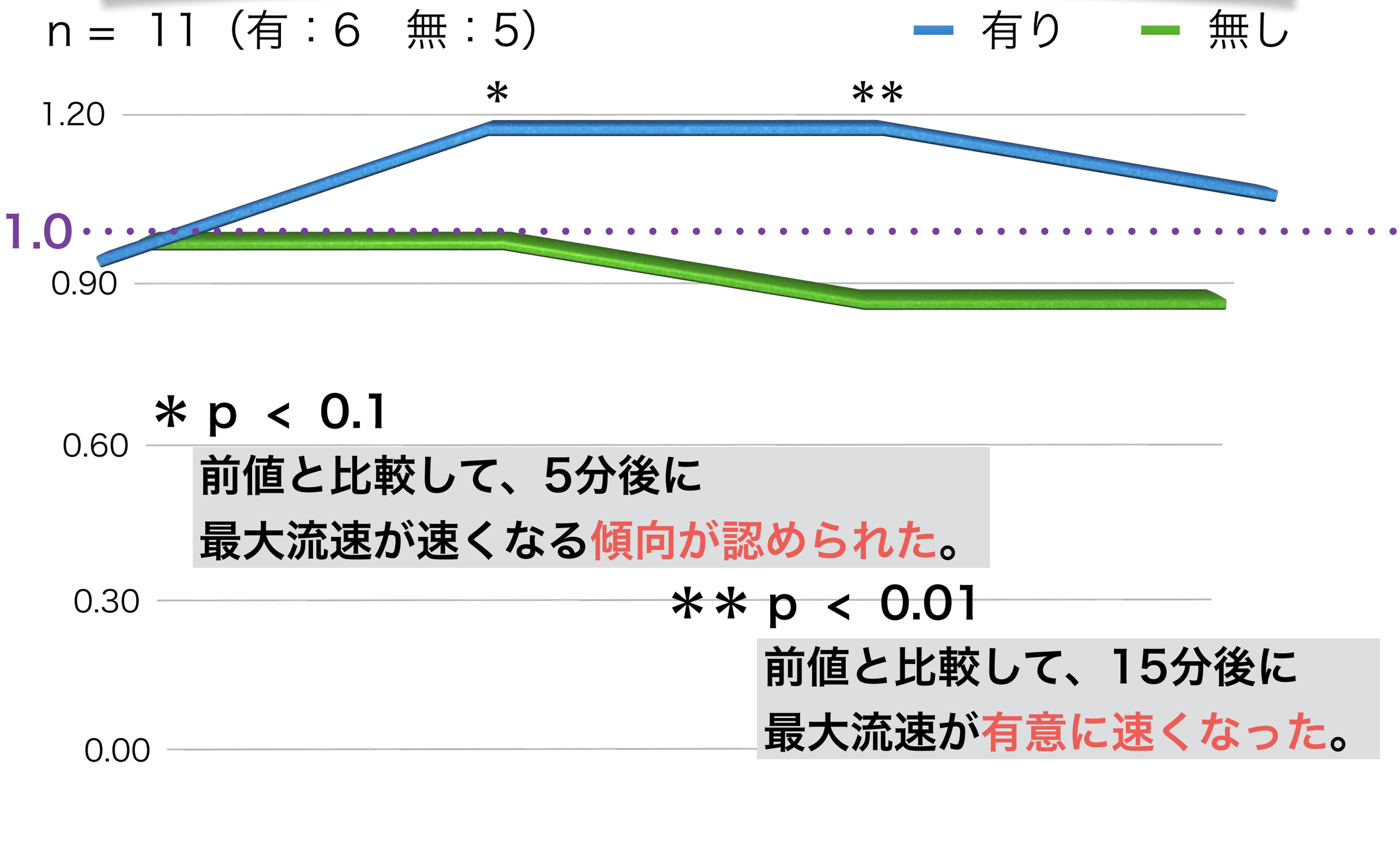
●測定は二重盲検法のもと、検査側が皮膚を圧迫せずマッサージにならないレベルで被験者の顔にクリームを塗布して開始。

非接触型血流観察装置 B-Scan

サーマルビデオシステム TVS－700

最大流速／PROUSION有無対比(クリーム)

n＝ 11（有：6　無：5）



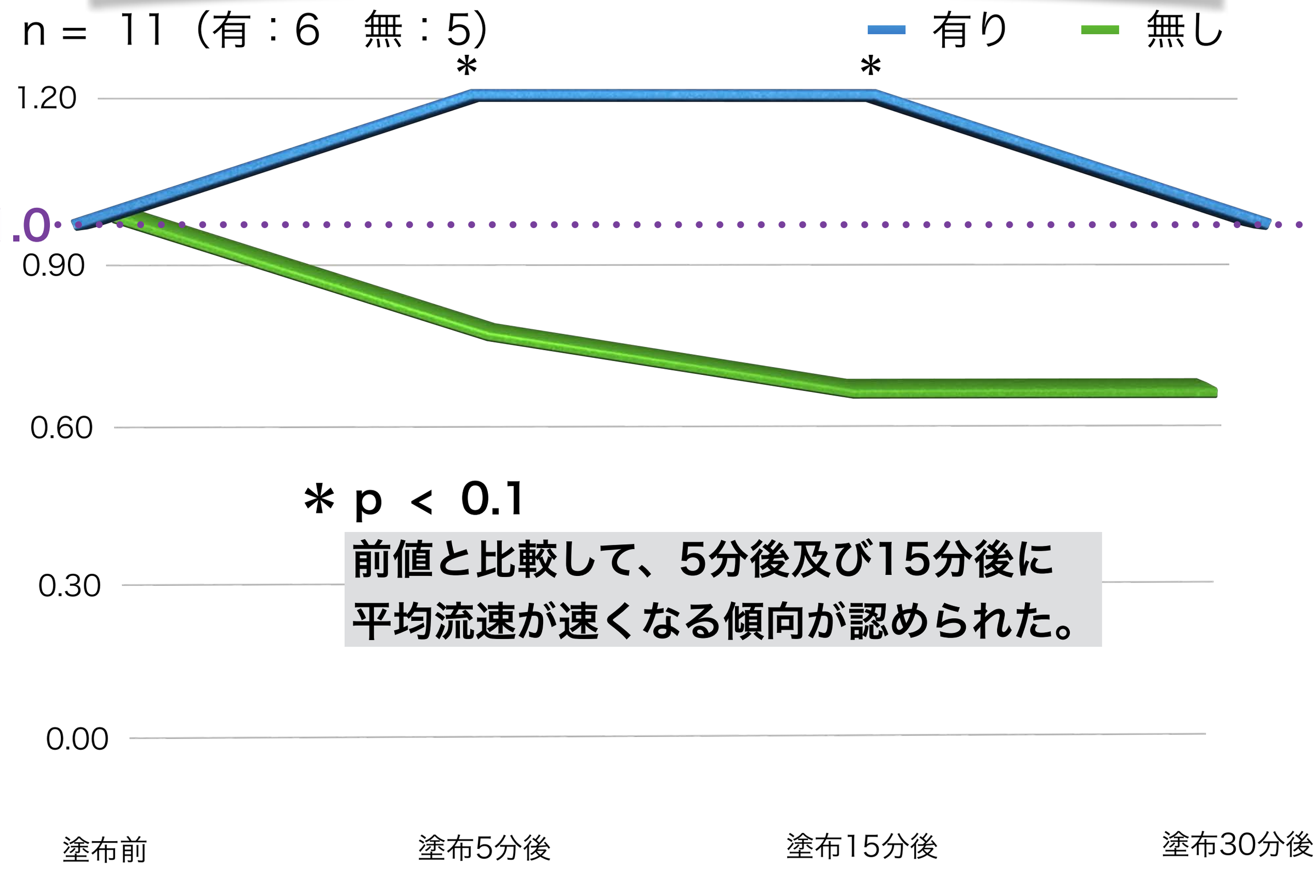
＊ｐ ＜ 0.1

前値と比較して、5分後に
最大流速が速くなる傾向が認められた。

＊＊ｐ ＜ 0.01

前値と比較して、15分後に
最大流速が有意に速くなった。

平均流速／PROUSION有無対比(クリーム)

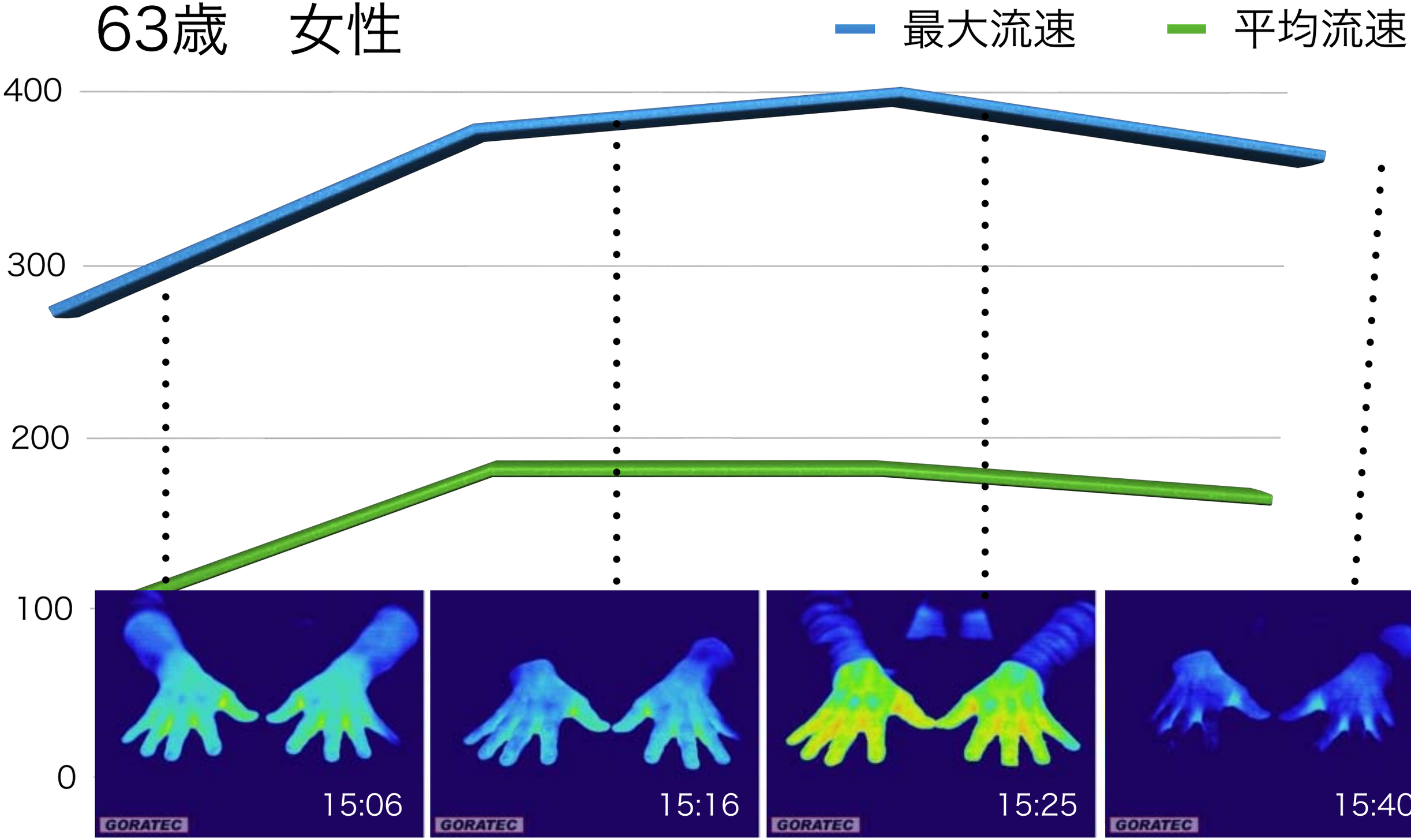


＊ｐ ＜ 0.1

前値と比較して、5分後及び15分後に
平均流速が速くなる傾向が認められた。

末梢血流と体温変化の並列比較(クリーム)

63歳　女性



塗布前　塗布5分後　塗布15分後　塗布30分後

まとめ

- ***PROUSION***® 配合製品は、**血流を改善する**ことが有意に（一部は改善傾向）認められた。

- クリームでは、5分後及び15分後に続けて平均流速の改善傾向を認めた。従って、***PROUSION***®は一過性に血流速度を上げるのではなく、**血流を持続的に改善させる作用もある**ことが示唆された。